

# 取扱説明書

# RACING MONITOR

- SEQUENTIAL SHIFT LAMP
- DIGITAL TACHO ● WATER TEMP
- SPEED ● GEAR POSITION

RACING & ECO

この度はPIVOT RM-07をお買い上げ頂きありがとうございます。  
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。  
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p><b>警告</b> 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。</li> <li>●製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。</li> <li>●コードの被ふくを傷付けない ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。</li> <li>●運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。</li> <li>●配線はテープなどで収納する 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。</li> </ul>	<p><b>注意</b> 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用で、それ以外の電圧には装着できません。</li> <li>●装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。</li> <li>●薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。</li> <li>●高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。</li> <li>●ネジ・部品は元の状態に戻す</li> <li>●眩しく感じる場所へ装着しない</li> <li>●加工・分解および改造をしない</li> </ul>
---	--

1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、対応不可です。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 他のPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。  
⇒ [http://pivotjp.com/information/obd\\_conjunction.html](http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html)

## 内容物をご確認ください



## RM-07の機能

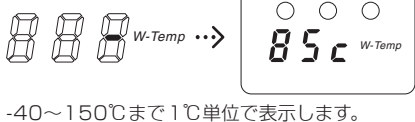
### 1. エンジン回転表示



### 2. シーケンシャルシフトランプ



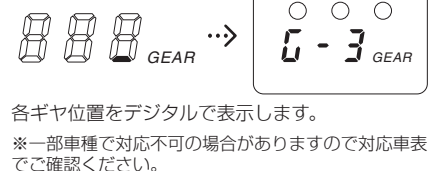
### 3. 水温表示



### 4. スピード表示



### 5. ギャポジション表示

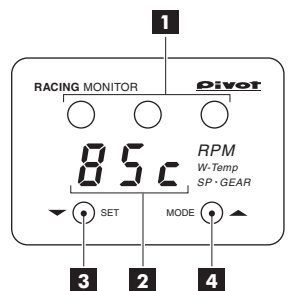


### 6. その他の特長

- 配線不要……………接続は故障診断コネクタにカプラーオンするだけで簡単に装着できます。
- 車種別設定不要……………接続後の車種別設定は一切不要です。
- スケルトンブラック……………表示はスケルトンブラックケースから浮かび出ます。
- コンパクトボディ……………小型本体は幅広い場所に装着が可能です。

## 各部の名称とはたらき

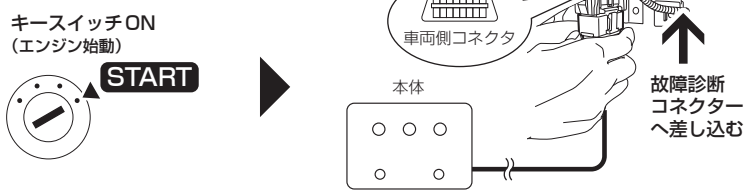
- 1 シフトランプ  
設定値で点灯、点滅し、シフトポイントを知らせます。
- 2 表示部  
エンジン回転・水温・スピード・ギャポジション・設定内容を表示します。
- 3 SETスイッチ(▼)  
シフトポイントやシフトランプ設定に使用します。
- 4 MODEスイッチ(▲)  
表示モードの切り替え、シフトポイントやシフトランプの設定に使用します。



## 接続方法および表示の見方

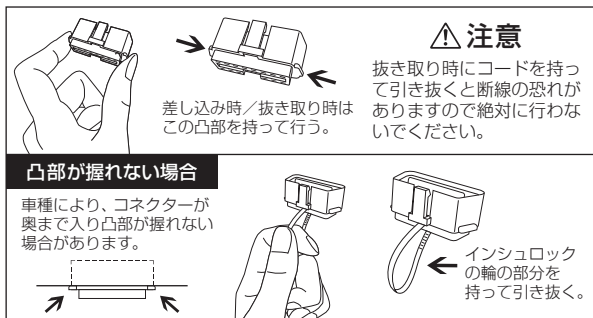
**準備** 作業を始める前に付属の“対応車種表”で取付位置をご確認ください。

### 1 エンジン始動中にOBD2コネクタを故障診断コネクタに差し込む



※一部の車種で、エンジン停止中に差し込みを行うと表示しないまたは誤表示する場合がありますので、エンジン始動中にコネクタ接続を行ってください。また、バッテリー端子を外した場合は、一度コネクタを抜き、差し込み直してください。

### 【参考】OBD2コネクタの取扱注意



## 2 “メーカー別表示”を確認する

※本製品は取付後の車種別設定などは必要ありません。

OBD2コネクターの差し込みから **最長約35秒** でメーカー別表示を行います。  
(製品の特性上、初回のみメーカー別判断を行います。OBD2コネクターを差し込んだ際も同様です。)

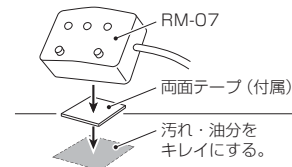
### メーカー別表示

Sbr (スバル) S2 (スズキ) tYt (トヨタ) nnc (ミツビシ)  
n15 (ニッサン) dHt (ダイハツ) LUS (海外トヨタ) Hnd (ホンダ)

“メーカー別表示”の後、各表示に切り替わります。(⇒「基本操作方法」参照)

## 3 本体を取り付ける

モニター本体と取り付ける場所の汚れや油分をきれいにし、付属の両面テープで確実に取り付けます。



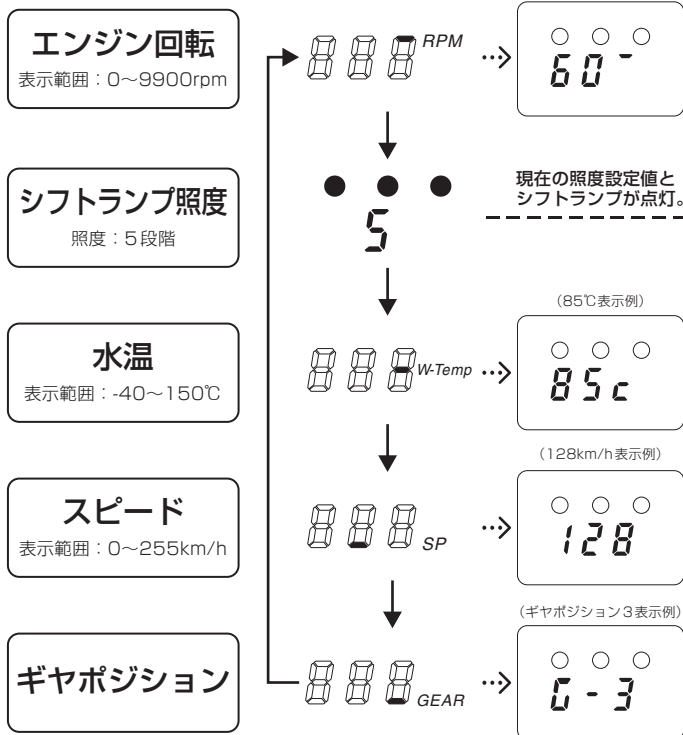
## 4 2回目以降の表示

2回目以降はキー ON から **最長約15秒** でメーカー別表示を行い、各表示へ移行します。

⚠ **注意** キー OFF 後は、**最長約15秒後** に消灯します。

## 基本操作方法

MODEスイッチで表示モードが切り替わります。



### シフトポイント設定

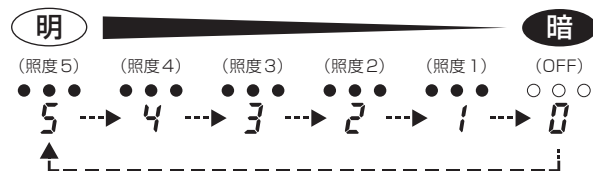
エンジン回転表示中にSETスイッチを押しシフトポイント設定に移ります。シフトポイント設定中はシフトランプが点灯します。

- 設定**
  - SETスイッチ、MODEスイッチで2000~9900rpmの範囲で100rpm単位の設定をします。
- 設定完了**
  - 3秒以上スイッチ操作なしで設定完了し、エンジン回転表示に切り替わります。

※シフトランプは表示しているモードに関わらず作動します。

### シフトランプ照度設定

- 設定**
  - SETスイッチを押して照度を設定します。
  - スイッチを押すごとに1段階暗くなり、0からは5に戻ります。
- 設定完了**
  - 3秒以上スイッチ操作なしで設定完了し、エンジン回転表示に切り替わります。



### ギヤポジション表示について

- ホンダ、ダイハツ、三菱車は、ギヤポジション出力がないためギヤポジション表示がされず、エンジン回転表示にスキップします。他メーカーでもギヤポジション出力がないMT(マニュアル)車や一部車種は表示がされず G - - となります。また、スバルのMT車は G - 1 となります。
- 一部車種でロックアップ時にギヤポジション表示が G - - になる場合があります。

## 故障と思われるまえに

症状	原因	対策
キー ON で表示がされない。	OBD2 コネクターの接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	OBD2 コネクターの接続状態を確認する。 対応車種表をご確認ください。
シフトランプが作動しない。	照度がOFFに設定されている。	シフトランプ照度設定でOFF以外に設定する。
誤表示する または メーカー別表示が異なる。	エンジン停止中にOBD2コネクターを差し込んだ。 バッテリーを交換、またはマイナス端子を外した。	OBD2コネクターを抜き、エンジン動作中にコネクターを差し込む。 OBD2コネクターを抜き、エンジン動作中にコネクターを差し込む。
表示が純正メーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正や他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ギヤポジション表示がおかしい。	一部車種でギヤポジションが正常に表示されない場合がありますので、対応車種表をご確認ください。 (⇒基本的な操作方法と表示の見かた“ギヤポジション表示について”参照)	